

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援きんぎょ(放課後等デイサービス)				公表日	令和7年3月12日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・長期休暇の時は多くなるので譲り合いながらスペースを確保している。 ・法令を遵守したスペースは確保しています。	・同時時間の利用者の数と活動の仕方によっては密であると思う。 ・同じ時間帯の利用人数や子どもの活動によって密になることもありますが、子どもの自主性を尊重するため空間利用の規制はしにくい状態です。 ・今後も状況の中で適切な対応方法を検討していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・法令で必要とされる人員を配置し、保育士・特別支援学校教諭免許取得者、介護福祉士など児童・特別支援分野での経験と専門性の高いスタッフを配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・一般住宅の為設備が十分とは言えないが、階段や段差などバリアフリー化が難しい場所については、ジョイントマットや滑り止めを設置している。	・バリアフリー化は難しい部分がある、一般住宅を利用している為、段差・階段がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・心地よく過ごせるよう努力はされている。	・活動に合わせてとなると広い空間が欲しい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・子どもたちが安心して過ごせるように、場所の工夫をしている。	・利用人数によっては部屋が足りないと感じることがある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・必要に応じて随時話し合われています。 ・PDCAサイクルを心がけ、活動前後に職員間で振り返りや情報共有を行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・日頃より保護者とコミュニケーションを取るよう心がけ、今後も継続して保護者の方々の意向の把握に努めていきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・毎日ミーティングを行い、そこで意見を出す機会を設けております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	・外部による第三者評価は行っておりませんが、日々職員及び利用者・保護者との意見交換を行う事で業務改善を行う環境を整えております。	・外部による第三者評価は行っておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・経験豊かな職員が適時療育に同席してスーパーバイズ（療育場面の同席、振り返り等）を適時実施しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・5領域に基づいて個々に合わせた支援内容を作成しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・完全個別対応で常に保護者が同行して下さっている状況のため、子どもたちの様子や保護者のニーズを把握したうえで支援計画を作成するよう心がけています。利用者が発達センターや医療機関で行った検査結果を持参いただき、発達状況を把握しています。 ・計画案をスタッフ全員で検討するミーティングを設けています。		
	13	管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で	5		・保護者のニーズを聞き取った上で、療育担当がお子さまの普段の様子から最善の利益を考慮して支援計画を作成しております。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・個別支援計画に沿った支援を心がけています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	3	・日々の行動観察や保護者からの聞き取りなどインフォーマルなアセスメントを行っております。	・標準化されたツールは用いていない。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に則した支援内容を個別支援計画に表記しています。 ・「非認知能力」を高めることに着目した独自の支援内容や項目を設定しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	3	・個別対応のため、基本的には担当者がプログラムを組み立てますが、ミーティング等では担当以外のスタッフも自由に意見を言い、支援内容や進め方等の検討・情報共有を行っています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・各児の興味・関心に寄り添える様工夫しています。 ・個々の特性に合わせた支援内容を計画し、状況に合わせて変化させています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・基本は個別のみだが、同時間に複数名利用の際は小集団での活動の場合があります。 ・個別で身につけた力を集団の中で活かすことができるよう課題設定をしています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	3	・毎朝、職員ミーティングを行い、1日の流れやそれぞれの担当を確認しています。ミーティングの内容は毎回記録して始業時間が異なる職員とも情報共有を図るようにしています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	・毎回必ずではないが、ケースごとに必要時振り返り・共有をしています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。			・支援終了後に各担当で支援記録をとることを徹底しています。 ・課題となることへの対応の仕方やその日感じた問題を都度相談したり報告しています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・6か月以内毎に支援計画の見直しを行っています。	
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		・5領域の視点を網羅した支援を行うように心掛けております。	・地域交流については、3月に大和郡山市の障害児通所事業所3事業所で合同イベントを開催しました。	
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・自分でしたい遊びを自分で選択できるようにわかりやすい環境作りを心掛けていきます。		
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・開催された場合には児童発達支援管理責任者や療育担当者が出席しています。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・主治医や協力医療機関等と常に連絡が取りあえる体制を整えています。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	3	・他事業所・各関係機関との情報共有を行っております。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3	・保護者のニーズに応じて相談支援機関とも連携しながら、小学校や特別支援学校等に電話連絡したり、訪問したり、書面でやりとりしたりして情報共有や相互理解に努めています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	30	3	2	現在の利用者では放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	
	31	3	2	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	
	32	1	4	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	現在は放課後学童クラブや児童館との交流や地域のこどもと活動する機会を持っていない。
	33	5		(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	
	34	5		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	
	35	5		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	
保護者への説明等	36	5		運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	
	37	5		放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	
	38	5		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	
	39	5		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	
	40	5		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	
	41	5		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	
	42	5		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	
	43	5		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	
	44	5		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	
45		5	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・各種マニュアルの策定を行い、職員や保護者への周知を図っています。訓練の実施については利用者の方々の状況も考慮の上、検討していきます。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		・契約前の面談時に相談受付票を保護者の方に記入いただき、服薬等について把握しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		5	・現在、食品を扱うプログラムを実施しておりませんが、今後必要に応じて聞き取りを行う予定です。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・各種マニュアルの策定を行い、職員や保護者への周知を図っています。訓練の実施については利用者の方々の状況も考慮の上、検討していきます。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・事例集を作成することで、事業所内で共有し、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・自治体が開催する虐待防止に関する研修会に積極的に参加し、職員全員に研修内容の周知を図っています。 ・法人内で虐待防止委員会を設置し、各事業所の状況を情報共有しています。委員会で話し合った内容は各事業所職員とも情報共有を図っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		・法人全体で決定した身体拘束に関する項目を個別支援計画に記載し、保護者にも必ず説明をして了解を得ています。		